

## 特集「立命館大学の入学者選考」の趣旨

紀要編集委員会

教育開発推進機構では、紀要『立命館高等教育研究』を定期的に発行し、全学での認識の共有を図るとともに、教育実践の公表・紹介等、学外の関係諸機関に対して情報発信を行っています。『立命館高等教育研究』は「学園内の組織ならびに個々の教職員の教育に関する研究成果や実践報告を収集・蓄積・発信することにより、組織的なFD活動、SD活動の進展に寄与することを旨とする」ことを目的として、教員個人のみならず学部組織の実践報告の掲載や、教育に関わる職員の執筆論文を掲載してきました。

第7号（2007年3月刊）からは、本学独自の取組を中心にテーマを定め、特集という形で掲載しています。第7号・8号では、立命館大学におけるGPの取組を、第9号では立命館大学の教養教育を、第10号では立命館大学の言語教育改革を、第11号では「立命館の大学院教育」を取り上げてきました。また第12号では、「立命館の学位授与方針」として、立命館学園の学士課程に焦点を当てました。

第13号の特集のテーマは、「立命館大学の入学者選考」とし、立命館大学における入学者選考の現状と今後の課題を集約し、議論する特集を組みました。大学全入時代に近づくにつれ、基礎学力が不十分な学生層や興味・関心が著しく多様な学生層の入学が増えるなど、大学教育の質保証の担保が難しくなっています。また国際的な規模において、学習成果を重視するなど教育の質保証への取組が進められ、国際通用性を備えた大学教育の構築が求められるようになりました。

大学における教学面の強化では、大学教育の基礎となる学生の基礎学力の確保、学生の多様性に応じた大学教育の質の維持・向上、卒業後の社会活動にふさわしい社会的行動様式や価値観の育成などは非常に重要な課題です。本学でも、2020年までの立命館学園のあるべき姿をまとめたR2020基本計画において、学園ビジョン「Creating a Future Beyond Borders 自分を超越る、未来をつくる。」を策定し、教育の質向上と人材育成に取り組んでいます。これらのため、教育課程の編成・実施方針（CP、カリキュラム・ポリシー）と学位授与方針（DP、ディプロマ・ポリシー）を明確化した大学教育を実施していますが、本学で学ぶ意欲を持った学部学生・大学院学生を迎える入学者受け入れ方針（AP、アドミッション・ポリシー）をいっそう明確化して入学者選考を行うことも、教育の質保証の点から非常に重要だと考えられます。

そうした観点から、本学の入学者選考のあり方についても、改めて様々な視点から検討・吟味する時期にきていると思われます。この特集が本学の共通理解の醸成と教育実践・職能開発の一助になることを期待しています。

